

## 第 18 回電顕サマースクール

### 電子顕微鏡の有用性の再発見！

#### —基本的な電子顕微鏡試料作製と使用法の実際—

日本顕微鏡学会は、毎年サマースクールを開催してまいりました。ポストゲノムの時代に、再び、生理活性物質の細胞内局在を超微細形態の場で明らかにすることの意義が、再認識されつつあり、「電子顕微鏡が使える研究者を知りませんか？」という問い合わせが多く聞かれるようになっております。

本年度は「電子顕微鏡の有用性の再発見！—基本的な電子顕微鏡試料作製と使用法の実際—」をテーマに東京で開催することとなりました。今回は、電子顕微鏡技術の基本、基礎について、初めて電子顕微鏡に触れる初心者の方々にも、わからないことを理解してもらうために、易しく解説することを基本姿勢として望む予定です。透過型電子顕微鏡、走査型電子顕微鏡の試料作製、観察、電顕免疫組織化学、凍結技法、さらに応用編として超高压電子顕微鏡による試料観察と応用などを内容とします。「こんなことを聞いていいのかな」という質問が遠慮なく出来る機会にしたいと思いますので、是非ご参加いただきますよう、お待ちしております。

第 18 回電顕サマースクール実行委員長

小澤一史（日本医科大学 解剖学講座（生体構造学））

会 期：2007 年 7 月 27 日（金）、28 日（土）

場 所：日本医科大学（東京都文京区千駄木 1-1-5）

参加費（テキスト代を含む）

会 員 12,000 円（非会員 15,000 円）

学生会員 8,000 円（非会員 10,000 円）

懇親会費：3,000 円

申し込み締め切り：2007 年 6 月 30 日（土）

申し込み方法：申込用紙に必要事項をご記入の上、下記宛に郵送、FAX でお申し込みください。受付後、参加費振り込み方法などの詳細をお送りいたします。

申し込み・問い合わせ先：

〒 113-8602 東京都文京区千駄木 1-1-5

日本医科大学解剖学講座（生体構造学）内

第 18 回電顕サマースクール事務局

担当：小澤一史

TEL: 03-3822-2131（内）5319 FAX: 03-5685-6640

E-mail: hozawa@nms.ac.jp

..... (切り取り) .....

#### 第 18 回電顕サマースクール申込用紙（コピー可）

FAX: 03-5685-6640

ふりがな		いずれかをチェックして下さい	
氏 名		<input type="checkbox"/> 会員	<input type="checkbox"/> 非会員
所 属		<input type="checkbox"/> 学生会員	<input type="checkbox"/> 学生非会員
所属先住所	〒	電話	
		FAX	
連絡先住所	〒	(所属先と同じ場合は記入不要) 電話	
		FAX	
E-mail（必須）		懇親会	<input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席

第 18 回 (2007 年) 電顕サマースクール プログラム

第 1 日目 7 月 27 日 (金)			第 2 日目 7 月 28 日 (土)		
時刻	内 容	講師	時刻	内 容	講師
8:45	受付開始				
9:20~9:30	開校式		9:00~10:00	免疫電顕法	小澤一史 (日本医科大学)
9:30~10:30	TEM 観察の基本	依藤 宏 (群馬大学)	10:00~10:10	休 憩	
10:30~10:45	休 憩		10:10~11:10	凍結技法と組織化学	瀧澤俊広 (日本医科大学)
10:45~11:45	SEM 観察の基本	近藤俊三 (日本電子)	11:10~11:20	休 憩	
11:45~13:00	昼食・休憩		11:20~12:20	超高压電子顕微鏡の生物 応用	樋田一徳 (徳島大学)
13:00~15:00	TEM 観察・操作の実際 SEM 観察・操作の実際	日本医大 中央電顕室	12:20~13:20	昼食・休憩	
15:00~15:20	休 憩		13:20~16:00	〈実技指導〉 樹脂包埋超薄切片作製 凍結超薄切片作製 TEM 操作・SEM 操作	日本医大 中央電顕室
15:20~16:20	TEM 試料作製のポイント	千田隆夫 (藤田保健衛生大学)	16:10~16:30	終了証書授与 閉校式	
16:20~16:30	休 憩				
16:30~17:30	SEM 試料作製のポイント	近藤俊三 (日本電子)			
18:00~	懇親会				